

**問** 三ヶ村落堀の護岸補修の計画は

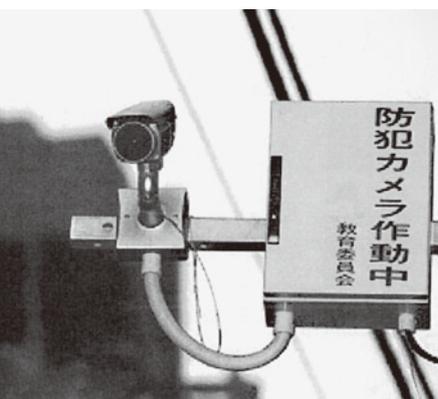
小久喜JR二反五畝踏切から千駄野に通じる都市下水路、天使幼稚園から隼人堀川に通じる三ヶ村落堀の水路のヘドロなどが、かなり堆積し護岸もコンクリートの傷みが目立つ。白岡駅を中心とした市街地の雨水整備の現状と浚渫や護岸補修の計画を伺う。

**答** 今後も施設の確認・点検を継続していく

白岡第1号幹線と白岡第1の2号幹線の整備により、白岡駅周辺の道路冠水の解消に効果があった。また、当水路内には、土砂などの堆積はあるが、流れを阻害していないため、今後も施設の確認・点検を継続し、護岸補修や浚渫などの適切な維持管理に努めていく。



大倉秀夫 議員  
(白新会)



**問** 防犯カメラの設置を

防犯カメラは事前に犯罪への抑止力もあり不審者犯罪を減少できる。春日部の自動車パンク事件も防犯カメラのない駐車場が狙われた。防犯カメラについての質問は3回目になるので、今までの調査検討の結果と進捗状況は。今後の設置について市の考えは。

**答** 防犯カメラの設置に向けた協議をしていく

通学路に防犯カメラを設置するには解決すべき課題がある。まずは、施設などに設置されている既設の防犯カメラについて適切な運用を図っていく。近隣市町の学校への防犯カメラ設置方法や管理状況を把握し、設置に向けた管理体制などを各学校長と協議していく。

**問** 大山・菁莪地域活性化をどう考えるか

大山・菁莪地域活性化推進事業がスタートしたが、この1年どう取り組んできたのか。

また、今後少子高齢化による人口減少が顕著なこの地域において、市ではどのように考え、この事業を進めていくのか。

**答** 地域住民の主体的な活動が必要不可欠

今年度は、慶應義塾大学との連携・協力のもと、地域活性化の検討および地域における人材育成に取り組んだ。大山・菁莪地域の活性化には、地域住民の主体的な活動が必要不可欠である。今後も、両地域における活発な地域活動の促進を図る事業を実施していく。



大島 勉 議員  
(創政会)

**問** のりあい交通の今後

実証運行からはや3年が経過したが、現状は。また、一昨年前にアンケートを行なったが、その結果と対応はどうなっているか。

さらには、これからの白岡市の交通施策をどのように考えているのか。

**答** 市の最適な交通手段を考えていく

28年度では、1日当たり33.5人がのりあい交通を利用した。今後、アンケート結果を踏まえ、昼休み時間の運行とネット予約を開始する。市では、少子高齢化や人口減少などの社会情勢の変化を捉えながら、最適な交通手段を調査・研究していく。

